

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2002-198765(P2002-198765A)
【公開日】平成14年7月12日(2002.7.12)
【出願番号】特願2001-330844(P2001-330844)
【国際特許分類第7版】
H03H 7/42
【FI】
H03H 7/42

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月29日(2004.10.29)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

少なくとも2つの入力及び1つの出力を有するN段差動はしご形フィルタと、
前記N段差動はしご形フィルタの出力を受信し、前記差動はしご形フィルタに直列接続されたブリッジ格子形回路の出力を有し、第1の共振周波数と第2の共振周波数との間で交番する共振周波数を有してリング形と一緒に直列接続された複数の共振器を備えるブリッジ回路と、を備え、

前記N段差動はしご形フィルタ及び前記ブリッジ回路が、薄膜バルク音波共振器を備えることを特徴とする回路。

【請求項2】

前記差動はしご形フィルタの第1段は、第1の共振周波数を有する第1の共振器を含み、前記第1の共振器は前記少なくとも2つの入力間に接続されていることを特徴とする請求項1に記載の回路。

【請求項3】

前記第1段が、それぞれ第2の共振周波数を有する第2及び第3の共振器を備え、前記第2の共振器は、前記少なくとも2つの入力のうちの第1の入力に接続されるとともに、前記第1の共振器に並列接続され、前記第3の共振器は、前記少なくとも2つの入力のうちの第2の入力に接続されるとともに、前記第1の共振器に並列接続されていることを特徴とする請求項2に記載の回路。

【請求項4】

前記差動はしご形フィルタの次段が、前記第1段と実質的に同一に形成されていることを特徴とする請求項3に記載の回路。

【請求項5】

複数の段を有するとともに、2つの入力及び2つの出力を有し、各段が2つの手すり部分と1つの横棧部分とを含み、各手すり部分は第1の共振周波数を有する共振器を含み、各横棧部分は第2の共振周波数を有する共振器を含む、差動はしご形フィルタと、

前記差動はしご形フィルタに直列接続され、前記第1の共振周波数と前記第2の共振周波数との間で交番する共振周波数を有してリング形と一緒に直列接続された複数の共振器を備えるブリッジ格子形回路と、
を備えることを特徴とするフィルタ。

【請求項6】

前記差動はしご形フィルタ及び前記ブリッジ格子形回路内の前記共振器が薄膜バルク音波共振器であることを特徴とする請求項5に記載のフィルタ。